

3年生学年通信

令和7年3月14日発行

☆贈る言葉☆

中宮中学校での3年間の学びは「主体的・対話的で深い学び」と呼ばれるものでした。「他者や自分自身との対話を通して、納得したり気づいたりしながら自分の学びを深めていく」というイメージでしょうか。ところで「自主的」と「主体的」の違い、わかりますか？「自主的」とは「正しいとわかっていることを自ら行動する様子」で、「主体的」とは「どちらが正しいかわからないことを自らの責任で決断し行動する様子」のことです。これからの時代は「VUCA時代」と呼ばれ、「先行きが不透明で、将来の予測が困難な状態」であるといわれています。「新型コロナウイルスの流行」「地球温暖化に伴う気候変動」など、これまで経験したことがない新しい課題にこれからも直面していくことでしょう。このときに必要なのが「主体的」な態度、つまり他人任せにするのではなく、仲間と協働し自らの責任で自己選択・自己決定しながら未来を切り拓いていく力です。

中宮中学校で身につけたこれらの力と自他の違いを認め合う「豊かな人間性」にますます磨きをかけて、色々なことにチャレンジしてください。それぞれの道でのさらなる活躍を期待しています。「もう二度とない今を走れ 悠遠の風のように」卒業おめでとう！



☆保護者の皆さまへ☆

お子様のご卒業おめでとうございます。この3年間、学校行事や学校教育活動にご理解とご協力をいただきありがとうございました。教育目標である「すべての生徒に自分と社会を結びつけて考え、行動できる力」を身につけるために、子どもたちは、仲間を大切に、共に学び、共に楽しみながら、何事にも積極的に取り組んでいました。ご家庭での保護者の方の応援や励ましが、子どもたちの頑張りの支えとなっていたのだと感じています。本当にありがとうございました。

裏面に卒業式での「答辞」を掲載しています

公立一般選抜 合格発表

3月21日（金） 全日制（普通科、専門学科）…午前10時
定時制、通信制…午後2時

発表は、オンライン出願システムで行われます。第二志望を書いた人は、自分がどちらの学科で合格したかをしっかり確かめてください。

合格した人は中学校へ連絡する必要はありません。指定の日時に行われる合格者集会に必ず保護者の方と参加してください。残念ながら不合格となった人については、必ず中学校に電話をしてください。

保護者の皆様へ

<合格の場合>

ほとんどの高校では発表日の午後から保護者同伴で入学手続きや入学者説明会があります。また、教材販売、制服採寸などが行われる場合もありますので、予定しておいてください。詳しくは出願時に各高校から配信されているお知らせをご確認ください。

<不合格の場合>

必ず中学校に電話で連絡をしてください。併願合格者は、すぐに合格している私立併願校の入学手続きをすることになります。また、公立二次（私立併願合格者は原則出願資格がありません）や進路未定の場合は、懇談の必要がありますので担任と日程の調整を行います。

☆奨学金について☆

大阪府育英会予約奨学生について

大阪府育英会の予約奨学生としての決定通知を受け取っておられるご家庭は、手続きが残っていますので、よろしくお願ひします。

枚方市奨学生募集のしおりの配布について

枚方市では、経済的理由のため高等学校等への就学が困難な生徒に対し、教育の機会均等を図ることを目的として奨学生制度を設けています。「しおり・願書」はすでに生徒に配布していますのでご確認ください。

【答辞】

春の柔らかな日差しが校庭に降り注ぐ今日この日、私たちは卒業式を迎えることができました。桜のつばみも日に日に膨らみ、まさに新しい季節の訪れを感じさせてくれています。この季節の変わり目に、私たちも大きな変化を迎えようとしています。春の訪れとともに、新たな出発の時を迎えられることに、胸が高鳴る思いです。本日は私たちのためにこのようなすばらしい卒業式を挙げていただき、誠にありがとうございます。また、お忙しい中、私たちのためにご臨席くださいましたご来賓の方々、教職員、保護者の皆さま、在校生の皆さんに、卒業生一同、心よりお礼申し上げます。これまでの3年間の思い出とともに卒業生全員の感謝の気持ちを伝えます。

期待を膨らませながら向かった入学式。まだ少し大きい制服に身をつつみ、知らない子たちに囲まれ、緊張で胸がドキドキしていました。どんな雰囲気のクラスになるのか、友達関係はうまくいくのかと、様々な不安が頭をよぎります。しかし、フレンドリーな人が多いことに気づいて安心し、少しずつ緊張がほぐれていきます。同じクラスになった子たちも、みんな明るく親切で、すぐに友達になれそうな雰囲気でした。

日々の授業は、特別なものではありませんでしたが、私たちを大きく成長させてくれました。「勉強と学びの違いはなんだろう」学年が上がるたびに、最初の授業で考えたこのテーマは、今でも心に残っています。分からないことは分からないと言い、みんなで学びを深めていこうと取り組んだことは、私たちの絆を深めました。また、班活動では理科の実験や社会の調べ学習など、クラスメイトと協力して課題に取り組むことで、自分一人ではできなかったことができるようになりました。そんな自分の成長を、先生や友達が喜んでくれるのが嬉しかったです。3年間、みんなと乗り越えてきた経験は、かけがえのない思い出となりました。

中学生になって初めての校外学習では万博記念公園に行きました。好天に恵まれ、班で協力して先生から与えられるミッションをクリアしていくスタンプラリーや、クラスでのレクリエーション。どれも非常に盛り上がったことを今でも覚えています。

また、一部のクラスはお弁当を食べているときにカラスに襲撃されるという想定外の出来事も起こり、強く印象に残る校外学習となりました。

中学生になって二度目の校外学習は生野区にあるコリアタウン。班でのウォークラリーでは事前学習で学んだ韓国の文化を肌で感じることができ、韓国伝統的な食べ物や韓国製の商品などを思い思い購入しました。また、キムチ作りやチャンゴの演奏体験を通して、多文化共生を学ぶことができました。

文化祭は、全員が本気で取り組む中で衝突が生まれることもありましたが、何度も練習を重ね、クラス全体で協力することができました。そして、3年生ではクラス合唱に加えて、学年全員で「正解」を合唱しました。少ない練習時間の中でしたが、学年全体で一致団結することができました。体育祭は、毎年どの団も妥協せず白熱した戦いになりました。個人種目も学年リレーもそれぞれが全力で取り組み、応援ですら誰も手を抜いていなかったのが印象に残っています。

そして、中学校生活最後の体育祭。各クラス休み時間にバトンパスの練習をしたり、走順を工夫したり練習を重ねてきました。本番では、どんなに劣勢になっても誰も諦めず、最後までどのクラスが一位になるのか予想がつかない激闘でした。

クラスのみんで過ごす二泊三日の修学旅行。当日、学校についてからはワクワクが止まりませんでした。一日目は、大自然に囲まれた中でのラフティング。本当は川でできた、という少しショックの中、その気持ちを吹き飛ばすほどの寒さと楽しさ、そしてクラスメイトと協力し自然の雄大(ゆうだい)さを感じました。気づいたらボートに乗っているメンバーが変わっていて、大爆笑。宿の中でも、クラスメイトとたくさん笑って、お菓子を食べたり、漫才をしたり、宿のご飯はとってもおいしかったです。そして夜はみんなで花火、クラスメイトとできることが楽しくて嬉してたまりませんでした。大阪では見られないほどの星を見て、とても感動しました。二日目は長野でのSDGs学習、地域の気候・地形を生かして、長野ならではのSDGsのアプローチを学びました。また、アクティビティでは他クラスの人とも仲を深めることができました。みんなと一緒に過ごす一年間のうちのたった三日間のはずなのにクラスの仲がより一層深まり、かけがえのない最高の思い出になりました。もし夢が叶うなら、もう一度、みんなで修学旅行に行きたいと思えるほど、最高の修学旅行でした。

私たちの学年目標は「意識改革 誰一人取り残されない環境を作る」でした。これだけの思い出を残すことができたのは、仲間とともに目標達成に向かって精一杯取り組んできたからだと思います。後輩の皆さんも自分たちの目標に向かって全力で取り組んでみてください。

普段の学校生活を楽しく過ごすことができたのは、私達に常に寄り添い導いてくださった先生方や、嬉しい時も悲しい時も優しく見守ってくれた家族、そして陰で支えてくださった全ての方々のおかげです。本当にありがとうございました。今日から私たちはそれぞれの道を歩み始めます。これからも私たちの成長を温かく見守ってください。

令和七年三月一四日

卒業生代表

加賀 優 吉田 風香 鶴之園 快斗 馬渡 惇